

## 2019年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	長野県高等学校コマ大戦の実施
事業主体 (連絡先)	まつもと広域ものづくりフェア運営委員会 (松本商工会議所 ものづくり支援グループ TEL: 0263-32-5350)
事業区分	⑥オ: その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用の拡大に資する事業 ③: 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	982,562円 (うち支援金: 786,000円)

### 事業内容

長野県内の高校生の対象とした形となって本年度で5回目の開催を迎えた本大会は昨年度より「地域発元気づくり支援金」を活用し、大会完成度を高める取り組みを行ってきた。本年も引き続き支援を受けながら、昨年度同様中継映像、のぼり、看板等大会を盛り上げるような取り組み等の大会の完成度を高めるような取り組みを行い開催した。大会自体には6校22チームがエントリーし、5グループに分かれたリーグ戦を行った後、12チームによるトーナメント戦を行い、上田千曲高校のチーム(上田千曲機械科女子)が優勝した。

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①昨年度より文化祭の関係でエントリーが1校減での開催となったが、昨年度の会場であった体育館から大教室へ場所を移したことで、より臨場感のある大いに盛り上がる大会となった。同会場で行われていたものづくり体験教室の隙間時間に多くの子供たちも見ていただくことができ、興味、関心を刺激することができた。

②技術支援の場を設けるという名目で、高校側に働きかけを行ったが、企業側との調整がつかず、実施することはできなかった。高校生に対して技術指導などの直接的な支援をできなかったのが、一番の反省点として残った。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本年度の支援金事業として、企業人に高校生のコマの制作を指導する場を設けるということで高校側と日程の調整を行ったが、結果として日程の都合が合わず、実施することができなかった。

来年度は技術支援の場を設けることを優先事項とし、早めに企業及び高校側へ働きかけをしていく必要性を感じた。来年度の課題としていきたい。

(活動写真)



【表彰式の様子】

### 【目標・ねらい】

- ①高校生のスキルアップや観覧する高校生のものづくりへの興味関心を喚起する。
- ②将来の産業の担い手を育成する。

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

昨年度の体育館から会場を大教室に移したことで、選手と観客がより近い位置で試合を見ることができ、臨場感があり大いに盛り上がった大会となった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある